

令和 7 年度区長会ヒアリング結果整理～要望書 構成本案

A.区長会ヒアリング結果の整理（頻出順・全件網羅・区名付き）

※ 登場件数＝該当区（重複なし）の数。各カテゴリ配下に個別意見を全件列挙（先頭に「区名」）。

1) 役員負担・人員確保・4 月集中の是正（登場 10）

- [中割] 区長の担当範囲が広すぎ、仕事量の大幅削減を望む
- [北割 1] 国勢調査員・民生児童委員・選挙立会人・ハーフマラソン要員の確保に苦慮
- [北割 1] 意思疎通の場を増やしたいが、行事増は負担過多
- [福岡] 4 月の区長会で、分からない時期に難しい依頼を一気に出さないこと
- [福岡] 民生委員・国勢調査員の選考は、担当職員が区と率先対応を
- [市場割] 行政依頼が区長に集中し、本来業務が後順位に
- [市場割] 単年度主義で年度当初に会議・行事が集中し処理困難
- [市場割] 行政円滑化のため、区の事務組織強化を財政支援（人選の丸投げ回避）
- [町 3] 再雇用など勤務継続者が増える。区長への委嘱数を減らす等で負担軽減
- [上穂町] 自治組合長・区長が下部団体の代表を兼務し事務量過多。新展開が生まれにくい
- [上穂町] 本年は民生委員改選・国勢調査が重なり苦労
- [北割 2] 4 月始まりは引き継ぎと行事が同時集中。1 月始まりの方が余裕
- [町 2] 町内規模が大きく回覧 2 週間。隣組戸数の定期見直しルールがないと運営困難
- [町 2] 出席しない町内への対応に困る
- [町 4] 募金・寄付等の取りまとめを町内役員が担当し作業量が多い
- [北割 2] 区長会が業務連絡とお願い事中心に感じる
- [町 1] 説明が理解できないうちに次項目へ進むケースが多く苦労
- [町 1] 仕事量が多い

2) 集金・募金の見直し／公平性（登場 6）

- [福岡] 交通傷害保険・学校同窓会会費（竜西）は区での集金をやめる
- [福岡] 各集金は本当に区・自治会が全て行う必要があるのか
- [福岡] 配布物も区・自治会経由が全て必要か
- [福岡] 緑の募金・日赤をなぜ区長会・自治会で集めるのか説明を
- [福岡] 加入・未加入の不公平感がある
- [町 4] 区費納付者と未加入者の不公平感が大きい
- [町 4] 不公平のためメリット説明が困難／区・自治会を抜きたいに反論困難
- [小町屋] 募金の納金時期統一で遅延が出る。遅れたら納金不可なのか
- [中割] 寄付金・支援金の集金が区に丸投げ
- [福岡] 金銭を扱う集金が多く高齢者には困難。硬貨計数機の貸与・共同配備を
- [福岡] 竜西・赤穂学校同窓会費は区長が役員だから集金...役員を早急に辞退したい
- [北割 1] 封筒回収方式は誤り時の責任所在が曖昧
- [上赤須] 公共性費用は市税で／募金は任意選択制の仕組みを

3) 事務手続・DX・窓口一本化（登場 6）

- [小町屋] 部署ごとに窓口が分かれ戸惑う。窓口を集約してほしい
- [小町屋] 書式が Word 中心で使いにくい。Excel 化を
- [小町屋] 補助金申請は似た書類が多く分かりづらい。申請-決定-報告の一体様式に
- [中割] 補助金報告書の簡略化
- [中割] 市の各部署で担当不在＝分からない対応がある → 改善
- [福岡] 市の下請け機関扱いでは？との懸念
- [市場割] 単年度主義を改め、事業ごとの計画期間へ
- [上赤須] 市窓口の一本化、各部門の作業標準化、区政標準化（相互学習）
- [上赤須] DX 推進・共有サイト開設、押印廃止／電子化
- [小町屋] 会議の服装指定は案内に明記を
- [小町屋] 二十歳・敬老の連絡は区所属者抽出の明示を
- [町 2] 役職決定を新年度前に（会議内容が分かりづらい・4 月が多忙）

4) 市からの委嘱・会議・説明（登場 8）

- [北割 2] 委嘱内容が不明確
- [北割 1] 委嘱経緯・内容が分からない。丁寧な説明を
- [福岡] 市事業の内容を詳しく丁寧に知らせること
- [町 2] 委員会資料は読んでも分かりづらい→前倒しで役職決めを
- [町 3] 選挙立会人の拘束が長い→短縮を
- [町 3] 国勢調査員の引受手がない→市が方法を検討
- [町 4] 地区育成会長の当て職が形骸化。時期を年後半へ／意味のない当て職は責任者へ
- [上穂町] 継続会議への参加は戸惑う
- [北割 2] 区長会が業務連絡ばかりとの感覚（※1 にも計上）
- [中沢] 委嘱会議に先立つ担当者の事前レクチャーが有効（継続希望）

5) 未加入者対応／加入促進・若年参画（登場 6）

- [福岡] 未加入者への扱いはどうしているのか
- [上穂町] 加入促進を講じないと運営困難
- [町 2] 行事参加者の高齢化（若年参加が少ない）
- [町 1] 二十歳の会など若年への働きかけ必要
- [町 2] 出ない町内への対応に困る（※1 にも計上）
- [上赤須] 自治会のメリット向上（活性化）・補助の充実と簡素化
- [小町屋] 区未所属が多い。所属特権の設定可否
- [町 2] 夏祭り等の小規模活性化事業への補助制度を

6) 公共施設・集会所（LED/空調）・防犯灯（登場 3）

- [中沢] 集会所の LED 化補助の早期結論を
- [中沢] 集会所の冷房設備への助成（避難所でもある）
- [上赤須] 防犯灯電気料や集会所管理費など公共性費用は市税での負担提案
- [市場割] 草刈り等の環境整備の課題（担い手不足）
- [市場割] 組織弱体化と担い手過負担（→公共施設維持への影響）
- [中沢] 既得権益の是正（公共調達等の慣行改革を要請）

7) フォーラム・検討会の進め方（登場 6）

- [中割] 自由討論で進展がない。テーマを絞るべき

- [北割 2] 過去の再発表感。方向性を
- [小町屋] 結論や解決方向が少なく物足りない
- [福岡] 開催しただけでは意味がない。具体化・実行を
- [市場割] イベントのための継続なら必要性に疑問
- [市場割] 伴走型支援（人と資金）の戦略実施を
- [東伊那] 早く結論を出してほしい

8) ごみ・不法投棄／生活環境（登場 1）

- [北割 1] ごみ集積場の不法投棄対応で関係者の負担が大きい → 負担軽減策が必要

9) その他・運営上の細目（登場 5）

- [小町屋] 会議の服装指定は案内に明記
- [小町屋] 名簿連絡は区所属者に限定してほしい旨の明記
- [町 1] 開催時期の配慮（年番区の祭典後に）
- [町 2] 夏祭りで交流促進・資金調達は苦労 → 小規模補助制度を
- [中割] 地区担当職員が名ばかりで連携・協力・支援がない
- [福岡] 区担当職員が仕事をする（役割の明確化）

.B 頻出マップ（カテゴリ別・該当区一覧）

- 役員負担・4 月集中是正（18）：中割／北割 1／北割 2／福岡／市場割／町 1／町 2／町 3／町 4／上穂町
- 集金・募金見直し（13）：福岡／町 4／小町屋／中割／北割 1／上赤須
- 事務・DX・一本化（12）：小町屋／中割／福岡／市場割／上赤須／町 2
- 委嘱・会議・説明（10）：北割 2／北割 1／福岡／町 2／町 3／町 4／上穂町／中沢
- 未加入・若年参画（8）：福岡／上穂町／町 2／町 1／上赤須／小町屋
- 公共施設・集会所（6）：中沢／上赤須／市場割
- フォーラム運営（7）：中割／北割 2／小町屋／福岡／市場割／東伊那
- 不法投棄（1）：北割 1
- その他運営（6）：小町屋／町 1／町 2／中割／福岡

C. 令和 7 年度 区長会 要望書（案）

（令和 6 年度の回答・積み残しを踏まえた改訂版）

宛先：駒ヶ根市長 伊藤 祐三 様

提出者：駒ヶ根市区長会 会長 倉田 正清

提出日：令和 7 年○月○日

総論

令和 6 年度回答に感謝します。一方で、役員負担・4 月集中・集金業務・委嘱の不透明さ・DX 遅滞・未加入者対応・公共施設費用の扱いなど、現場の切迫課題はなお解消に至っていません。令和 7 年度は、「具体化・実装・期限」を伴う伴走型の改革を要望します。

要望 1 役員負担の抜本軽減と 4 月集中の是正

背景：ヒアリングで最多（18 件）。民生委員・国勢調査・選挙・イベント要員などの選定・調整負担、4 月集中、単年度主義の弊害。

- 期首集中の平準化：各部局の依頼・会議・提出物を四半期配分。2 月末の引継ぎ会で翌年度の全体カレンダーを提示（R7 年度内開始）。
- 継続委員制の徹底：会議委員は任期中は原則継続（R6 回答踏襲）し、区長交代に左右されない運用を文書化。
- 人選伴走：民生児童委員・国勢調査員等は市担当職員が区と共同で候補探索・説明を標準化（手順書整備、R7 前期）。
- 事務局化の試行：再任用・会計年度任用職員等をモデル 3 区に配置し、事務補助・文書管理・配布調整を支援（R7 下期開始／R8 評価）。
- 隣組規模の最適化：推奨戸数ガイドと定期見直し手順を提示し、再編時は専門人材が伴走（R7 年度内）。

要望 2 集金・募金の見直しと公平性の確保

背景：13 件。区経由の集金は高齢役員に過大負担。未加入者との不公平感も強い。

- 市直納・キャッシュレス化：緑の募金・日赤・社協等は市／団体が直接納付できる口座振替・オンライン決済を整備（R7 前期設計／R7 後期実装）。
- 区経由集金の縮減ロードマップ：対象・時期・代替手段を明示（R7Q1 公表）。
- 誤集計時の責任明確化：封筒方式の責任区分と再処理手順を文書化（R7Q1）。
- 硬貨計数支援：共同利用の計数機をバトナ等に配備／貸与制度創設（R7Q2）。
- 公平性の説明：公共性費用（防犯灯・避難所集会所等）は市負担の原則とする検討を開始（R7 年度検討→R8 結論）。募金は任意である旨の周知（市報・Web）。

要望 3 事務手続の簡素化・DX・市窓口の一本化

背景：12 件。書式乱立、Word 記入困難、似た書類往復、押印、担当不在...

令和 7. 10. 20 区長会資料

- 統一書式：申請・決定・報告を一体化したテンプレを Excel で提供（R7Q1）。
- 押印廃止の前倒し（R7 年度中整備：R6 回答）を上半期完了に前倒し。
- 窓口一本化：区向け案件は「自治組織ポータル」に集約（問い合わせ番号・進捗見える化）（R7 下期）。
- 職員地区担当の実効化：役割（課題抽出・調整・助言）を標準業務に格上げし、対応 SLA を設定。
- 名簿・連絡の取扱い：二十歳／敬老は区所属者抽出での依頼を明記。

D. 付録：積み残し（R6 回答の未達・継続点）と R7 の求める前進

- 会議・委嘱の適正化：R6 の「見直す」方針の実施結果と縮減数を R7 上半期に公表
- 押印廃止：R7 年度中整備→上半期完了へ前倒し
- 集金負担軽減：直接納付・キャッシュレスの具体実装（対象・時期）を R7 内に開始
- 地区担当制度：SLA 化／窓口一本化で、実効性が見える化
- 地域 DX：CEK 回覧モデルは評価指標と拡張計画を提示
- 未加入対応：加入促進策の具体コンテンツ（リーフ・説明会）を明確化
- 公共施設：LED・空調の制度と日程を明示